

肱川

発行
肱川村役場
1958. 1. 20
編集
肱川村教育委員会

年頭のごとば

村長 池田萬千雄

顧みれば本村発足以来早くも十五周年を経過し、その間迂余曲折を重ね一部の分離又横林及び目吹村の一部合併等ありて現今に至ったのであります。

発足以来主眼として来た建設事業の推進、健全財政の確立等歴代全力を結集し、その実現に努力を重ねて参つたのであります。幸にも村民各位の絶大なる御支援により初期の目的を達成しつゝ、あるは本村の爲め誠心同慶に絶へぬ努力をなして参ります。

教育施設の整備拡充各種道路の整備新設バスの導入、村内通信網の充実等着々その実現をみるに至り発足当時の回顧すれば今昔の感を望するに至つたことは皆様御承知の通りであります。財政面については因り健全財政の建前を堅持し、その効果も極めて順調に移行なしつゝ、あるは誠に欣幸とするところでありませぬ。

殊に世紀の大事業である鹿野川ダムは順調に進展し昭和三十一年六月本体内工事に着工されたのであります。各関係当局の絶大なる御努力により工事も順調に進展しその完成も目前に迫りつゝ、あり之に伴い村は格段なる開運をもつものであり村議会においても特別機関を設け將來の村造り殊に観光事業等

その他万全の施策をけいどうしつてあります。

眞の産業発展は交通、通信の眞の最も大きいことにはこと更に申までもありません。本村に永年の愈願であった村内全般にわたる部落電話の架設は関係各官公署の絶大なる御理解と御尽力に相まつてその実現につき確信を得るに至りました。これは各関係当局各位及び地元部落関係の諸氏に対し深甚感謝すると共に悦びに堪へぬ次第であります。

道路建設については準備中のものあり進行中のものもあつた。その他文教・観光・土木・農林あらゆる部面において問題が山積し、これの完成に伴う新しい事態に對するその施策の運営については最も重要な年でありませぬ。

茲において村民各位の意見を尊重し公正なる村政の運営を期するたためは一層村民諸氏議会の御協力を充分に致し以つて一大飛躍を期し更に明るい住よい文化村の建設に努力致したいと存する次第であります。

昭和三十三年の新春を迎うるに当り本村の発展を祝し村民各位の絶大なる御盛運を喜ぶ申上げ更に限りない感激と希望に燃え盡すの一端を述べ、年頭の御挨拶と致します。

成人式

成人に挙行

本年成人に達した村内該当者二十九人、村内有志参列のもとに、厳粛な式を行ひ、慶賀具片栗民室長五島裕山先生の記念講演を聞き、婦人会手造りの心のこもつた会食をして散会した。

愛の餅を贈る

肱川村婦人会では、例年薄幸の子供達を中心に愛の餅運動を続けていたが、本年も各戸の協力を得て沢山の餅を菓子三、四、個の餅を荷造りし、被井会長、都谷副会長が挨拶を兼ねてついでに八日送付した。

送付先は、後援会、盲学校、聾学校、八幡宮学園等十三ヶ所の施設を充たした。

定例村議会

十二月定例村議会を十二月二十四日召集、左記議案を審議原案通り決定した。

附議事件

- 一 特別取組の取組の給与に関する条例の一部改正
- 二 報酬及び費用弁償額並びに支給方法に関する条例の一部改正
- 三 肱川村教育長の給与に関する条例の一部改正
- 四 肱川村職員員の給与に関する条例の一部改正
- 五 昭和三十三年度肱川村歳入歳出追加更正予算

本月の出来ごと

- 12月22日・教育委員会は勤務評定問題について村内校長会を開いて本問題の解決を図る。
- 12月23日・農業委員会未定地開墾状況を調査する。
- 15日・村議会正副議長、総務委員長村議会問題について協議
- 役場階上において農協主催製炭看合を開く。
- 16日・種痘実施(岩谷、鹿野川、正山)
- 17日・金融機関防犯対策協議会
- 20日・種痘(予子林)
- 21日・大谷地区農産物品評会
- 22日・定例村議会、教育委員会招集
- 27日・岩谷橋架橋陳情あり、28日・御用納め
- 浮穴・大洲線、奈良野一内子線道路改良工事二十ヶ所予算完了
- 昭和三十三年
- 1月4日・業務開始
- 10日・愛媛県電気通信部長来場
- 15日・三時定例稲田光春氏方畜舎管理一振焼失
- 西庇野川ダム工事について
- 鹿野川ダム建設工事は各方面の協力により着々と進捗していき、今後の工事工程について工事事務所より次のように連絡を受けています。
- 一 飯排水隧道を閉鎖して堤体内飯排水路に流路切替予定 三月中旬(この水により水位が約二、五米上昇)
- 二 新旧道路の交通切替予定 三月下旬
- 三 一部排水開始 七月下旬
- ろくろ唾児施設
- 川口笹木等十園
- 東宇和郡宇和町下本早四月よりろくろ唾児・高徳養護院の入所施設が開始される。入所希望者は村厚生係之申出て相談せられること。
- 遺児代表
- 晴園神社
- 参り 梓
- 宇和川中學校三互生、上野光子さん遺児代表

款	前年度の予算額		追加更正予算額		予算現額
	前年度	追加更正	前年度	追加更正	
税金金計	12,049,000	370,000	12,419,000		12,419,000
越前合	100,000	1,300,000	1,400,000		1,400,000
村繰寄入	1,782,920	21,400	1,804,320		1,804,320
17.9歳	23,657,460	1,691,400	25,348,860		25,348,860
会場本育衛生備合	483,000	249,500	732,500		732,500
生済	5,868,930	467,000	6,335,930		6,335,930
養育費管理費計	2,929,270	335,000	3,264,270		3,264,270
健康	6,739,340	81,260	6,820,600		6,820,600
健業	259,400	457,800	716,400		716,400
養育士教保護等	1,904,100	107,800	2,011,900		2,011,900
17.9歳	549,650	6,160	543,490		543,490
17.9歳	23,657,460	1,691,400	25,348,860		25,348,860

昭和三十二年度一般会計
歳入歳出追加更正予算(12月現在)

表下送れ一月三日大洲駅出発
日靖神社参拝五日東京都内見物
をすまして七日夕刻無事帰村した。

学童重病棟 開館取について

結核療養中の学童の学習指導を重視して本年四月より国立愛媛療養所に学童療養棟を新設される事になりました。該当の学童患者がある場合は村役場係へ御相談下さい。

(所在地)温泉郡重信所 国立愛媛療養所(新設学童病棟)

在宅結核患者指導指導並に栄養調理講習会実施について
二日附及場所
1月24日午前10時より
午後3時まで
大谷公民館
二講師 大洲保健所長 堀 照
保健婦長 齊川雪野
栄養師 浦上美枝子

隣のゾー水?

一 本村産乳牛、他郡で
上々の成績

最近、他郡市で実施された家畜品評会で、上位に入るものの中に、肱川産のものも特出、関係者をオド口かせておる。特に、郡畜連では優秀牛を村外へ出さぬよう注意すると共に、己得ず、出る場合は事前に相談し、その牛のわらわをよく知って、売買するようの注意をおる。

このようないことから、肱川酪農のあり方について、酪農家は、牛ののみ責任をおわすよのうへ方から、自分の管理等についても反省して見ることも必要であると云われておる。

